



## 9月例会報告

★「知事と語ろう！学校図書館」の様子は、「学校図書館を育てる会・しまね」の会報に記録が掲載され、県および各市町村の教育委員会へ配布される予定です。しばらくお待ち下さい！

☆その後の反省会では、島根・鳥取両支部がまとめた反省事項をもとに話し合いました。その結果をもとに、10月の全国委員会で報告してきます。

↓「知事と語ろう！学校図書館」に参加された須山さんに、報告してもらいました！

### 「知事と語ろう！学校図書館」参加報告

須山麻美

最近の島根では8月に学図研の全国大会が開催されたり、県議会で話題にあがったり、学校図書館についての注目・関心度が高まっているように思います。そして今回の「知事と語ろう！学校図書館」。島根の学校図書館に携わって4年目の私が言うのもなんですが、このような日が訪れるなんて…！先輩方が長年訴えつづけ、次第に小・中・高や公共図書館・行政・地域・書店がつながって、ここまで来たのだと思います。本当にすごいことだと思います。

各校の取り組み紹介では、全校（全町）体制で学校図書館の整備や活用を進めているところばかりでした。特に注目したのは、私の住まいや勤務先がある雲南地区の赤来中学校の取り組みです。教頭先生が発表されました。管理職をはじめ、何かあったら全職員がぱっと集まって作業してくれるというチームワークの良さを伺い知ることができましたが、それでも、「図書館にいつも人がいたら…」と言われたことが印象的でした。

また知事を交えての公開討論は、時間に限りがあるのでしかたがないことですが、まだまだお聴きしたいことがたくさんありました。現場で日常を送る人以外で「読書や図書館は大事だ」と言われる方の中には、極端に言えば「読書＝古典・名著」「図書館活用→学力向上」というイメージをお持ちの方が少なくないように思います。漆谷さんが「自己肯定感」という言葉を使われたり、実重さんがケータイ小説やライトノベルについて触れられましたが、この時は深い話題にはなりませんでした。そういうこともひっくるめて、図書館の使命とは何か、利用者は何を求めているのか、ということについて、今後さらに多くの人で共有していかなければならないと感じました。学校図書館が注目されればされるほど議論する機会は増えると思いますが、私はその場で自分の考えを上手に伝えられるだろうかと思いました。

知事が繰り返し言われたのは、それぞれの地域でもっと多くの人を巻き込んで啓蒙し、意見を届けて欲しいということでした。やはりまずはそこからです。まだ険しい道は続くかもしれませんが、最近の出来事を通じて教わった「信じてあきらめない」ということを忘れないようにしたいと思います。

★須山さん、ありがとうございました！

# 山陰大会報告□□□の続き

★前回、掲載できなかった分です！

## 1. 大会に参加した感想をお聞かせください。

○初参加の大会が地元開催で、さらに大会スタッフとしても関わらせていただいて、本当に良い経験になりました。

今後の私の司書生活に大きな影響を与えるだろう大会でした。図書館を想っておられる人が全国にこんなにもおられると実感できて、とても励みになりました。明日からも頑張ります！

## 2. 担当した仕事について、感想や、気づいたことをお聞かせください。北海道支部へ引き継ぎをします。

細かいことでもいいです。

受付

○要領が悪く不手際ばかりだったのですが、スタッフのみなさんに助けられました。お昼ご飯を食べておられなかった方がおられ、大変申し訳ないことをしました。受付時間より早く来られた参加者も多くおられ、スタッフミーティングの最中に受けてしまい失敗でした。ミーティングも完全ではなかったのですがスタッフの方たちが臨機応変に対応してくださって、本当に助けられました。受付スタッフ以外の方も案内や資料渡しを手伝っていただきました。遅れて来られた参加者への対応では、ヤマネツーリストさんにも助けられました。名簿を県別に名前のアイウエオ順に並べました。見つけやすさ等はどうか…。名簿の記載内容については検討・改善の余地がありそうです。

保育

- 今回、託児の方と相談して、個人のアレルギーなどに細かく対応しようと思い、持参したおやつ・飲み物を受け付けることを追加したが、実際に持ってこられた方はいなかった。結果として必要なかったが、選択肢があるのは必要な、と思う。
- 今回は申し込みが小学生だけだったこともあり、間近になって保育内容の計画変更をして、申込者に再度封書で内容変更のお知らせをした。(その後もいろいろ変更したけれど…) また、大会終了後、撮った写真を焼き増して、それぞれ参加者に送った。そのため通信費が少しだが、余分にかかった。参加者が少人数だからできたかもしれないが、予算に余裕があれば、ぜひ来年も。
- 救急用品を購入・準備し、万が一に備えたが全く使わなかった。例えば、どこかの学校の保健室から救急用品セットを借りて、使った分だけ後で購入し、返却する、といった方法が使えたらいいかな？と思った。実際にできるかどうかは…？
- 会場外で、三歳以下らしき子どもさんをつれられた学図研参加者の家族？のかたを見かけた。そういう方も、希望されれば親御さんと一緒なら保育会場で過ごしてもらってもいいのでは？と後で思った。しかし、保険の関係や、他の申し込み者との区別など、難しいか？今回は参加者が少人数だったので、そう思えたかもしれない。
- 申込者が確定した後、当初予定していた保育者は普段未就学児を中心に見ておられるところだったので、「小学生を中心にみるのは慣れていないので、できたら慣れている人を探されては」と申し出があった。当初は戸惑ったが、漆谷さんに適任者を紹介してもらって、小学生に見合っただけの保育になったのではないかなと思う。思い切って切り替えてよかった。
- 担当の子連れでの保育で、周りの人にご心配、ご迷惑をおかけした点多々あったと思います。色々な方に協力していただきました。ありがとうございました。

## 3. 講演や実践報告はいかがでしたか？

○あれもやらなきゃ、これもやらなきゃ、とプレッシャー＆ワクワクをたくさんいただきました。今から頑張って数年後、自分があんなにできていたのだろうか不安ですがココロに火も点きました。

## 4. 参加した分科会やナイターはいかがでしたか？

○意見交換のときの「司書や図書館がツカエルということを知ってしまった教員は、次の転勤先でも同じことを求めるだろう」といった内容(だったと思います)の、教員側からの言葉が印象に残りました。果たして、生徒にも教職員にも、他校と同等のサービスが出来る？…大きな課題になりそうです。

ありがとうございました！

↓9/8に行われた著作権セミナーについて、嘉藤さんに報告していただきました！

嘉藤幸介

### 平成20年度著作権セミナー参加報告

9月8日に行われた主催著作権セミナー（文化庁・島根県教育委員会）に参加してきました。以下、覚え書き程度に報告します。

毎年のように改正される著作権法。一度、きちんとした形で学びたいと思っていました。特に、今年度は松江市で開催されるという幸運に恵まれ、ついに念願の著作権セミナー参加することができました。期待通りの内容で、「これぞ研修！」といえるほど満足できる講義でした。講義は3部構成で下記の通り。

1. 著作権制度の概要Ⅰ
2. 著作権制度の概要Ⅱ
3. 分科会
  - (1) 一般、図書部会
  - (2) 教職員部会

「著作権制度の概要Ⅰ」「著作権制度の概要Ⅱ」については、時間が足りなかったような。全日程を2日間程度にさせていただくと、大変ありがたいです。ただし、「公衆送信」「公衆送信可能化」などの用語も理解できず、時間をかけて学ぶことができれば、著作権制度も難解ではないと思いました。

分科会は(2)教職員部会に参加。この分科会では、質疑応答の時間が設けられており、これが非常に良かった！特に、「著作権法31条が学校図書館では適用されない」という大前提を再確認。いつの間にか、公共図書館と同じ感覚で、学校図書館での複写を行っていた自分に気づくと共に、反省…（「自身が行う行為（職務）の根拠は何であるのか？」8月に行われた、学校図書館研究会全国大会講演での片山義博氏の言葉を思い出しました。）

また「著作権法35条」では、学校その他の教育機関での複写について、自分が理解していた以上に、広範囲で認められると解されることに驚きました。「35条」については、いずれ改正されて、さらなる制限がつくのだろうなと思いつつ、説明を聞いていました。

さて、研修を受けたからには、職場に還元していかなければなりません。松農図では、コピー機が1台設置されていますが、全教職員が共有する印刷室のコピー機に比べて1枚当たりの単価が高い（契約の都合上、ほぼ2倍の単価）。よって、「あまり使ってくれるな。」と言われていました。この問題を何とかしたい。なぜなら、適正な「授業利用のため」であるならば、教員や生徒からの複写を断る理由がないからです（ただし、単価が高いことは十分に考慮すべきではありますが。）現在、事務長に相談中。

さらに、校内において教員向けの「ミニ著作権セミナー」のようなものが開催できれば、いいのですが。現在、図書部内で検討中です。

以上、簡単ですが報告します。

★嘉藤さん、ありがとうございました！

## 図書館に関する情報&イベント案内

★ 小風さち講演会「お話が生まれるまで一幸せの記憶」

10月26日(日) 14:00～ 島根東部地域職業訓練センター(安来市)

※整理券が必要です。お問い合わせは安来市立図書館まで。

★ テラレーション Japan 2008 in 木次

11月9日(日) 14:00~16:00 木次図書館

※10月15日までに申し込みが必要です。

★ 長田弘講演会「本を愛するいくつもの方法」 10月19日(日) 10:00~11:30 本の学校

※500円の参加費と申し込みが必要です。

## 読んちよる

担当：矢野信夫

### 『人形の旅立ち』 福音館書店 2003年 定価1,750円

作者の長谷川摂子さんは、平田市出身で、絵本作家としては著名な方です。「人形の旅立ち」は、絵本ではなく、一冊の本に、5つの作品が入っている短編集で、一編一編が、子どもの心が出会うふしぎなできごとを描いた、純日本風のファンタジー作品です。

舞台となっているのは、昭和30年前後の日本で、巻頭に付された地図をみると、平田市の旧市街そのものです。国道431号線から北にちょっと入った平田大橋の付近で、神社や愛宕山の位置も実際の通りで、主人公の小学生「なおちゃん」の目から見た、陰影に富む出雲地方の風景が、鮮やかに描写されています。この普通の現実のすぐ傍に、ふしぎな世界が垣間見えるという話なので、山陰に住んでいる私たちにとっては、より面白く感じられるのではないのでしょうか。

長谷川さんは、絵本「きよだいな きよだいな」や「めっきら もっきら どおんどおん」などでも、こちよ言葉のリズムに特徴があるのですが、この作品（とくに最後の「観音の宴」は圧巻の印象）の文章はとても気持ちよく楽しめると思います。

緑色の装丁の地味な本なのですが、ぜひ一度手にとってみたい本です。金井田英津子（かないだ・えつこ）さんの挿絵もすばらしいです。なお表題の「人形」は、雛人形です。

☆矢野さん、ありがとうございました！ N0.11は梅木さん、No.12は堀さんです。よろしくお願いします！

(原稿はメール・FAX どちらでもかまいません。例会の次の週あたりにいただけると喜びます)

## ☆☆みなさんのご意見をお聞かせ下さい！☆☆

磯谷さんから、『恋愛』(特に小学校高学年向けの小説)、『学校図書館おすすめマンガ』で意見募集していただけると嬉しいです。また、それらを学校図書館へおくことの理由も」という質問が、また、飯塚さんから、「書架を購入する際のポイントや、おすすめのブランドについて」という質問をいただいています。ぜひ、下記のFAX返信用紙やメールでご意見をお寄せ下さい♪

乃木小ドリームとしょかんキャラクター

ドリーム・ブックさん



島根県は広いので、なかなか例会で会員全員が顔を合わせて話し合うことができませんが、このような機会に「うさみこ通信」を使って楽しく議論したり、情報を共有できたらいいな、と思っています。ご協力をお願いします！